

# 平成30年 山梨県観光入込客統計 調査結果

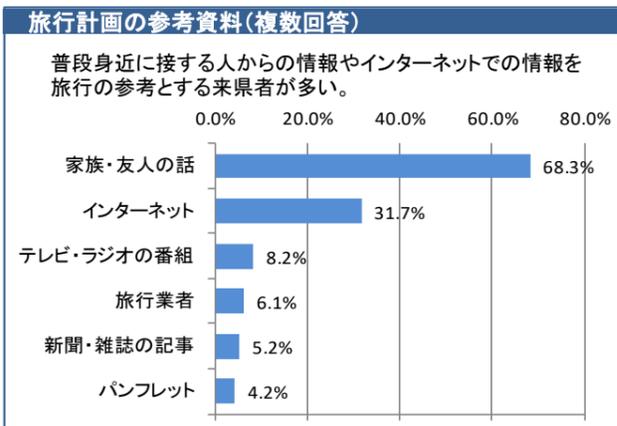
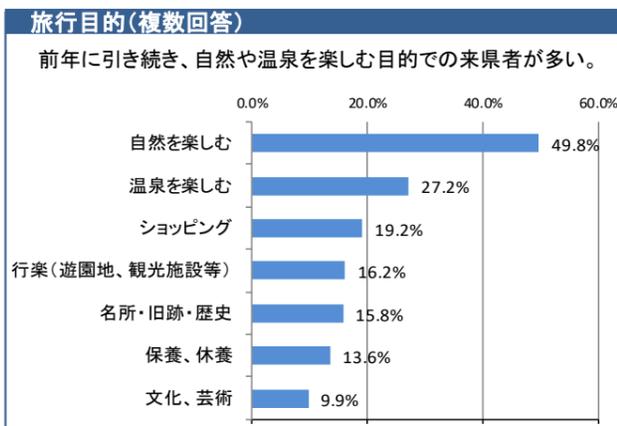
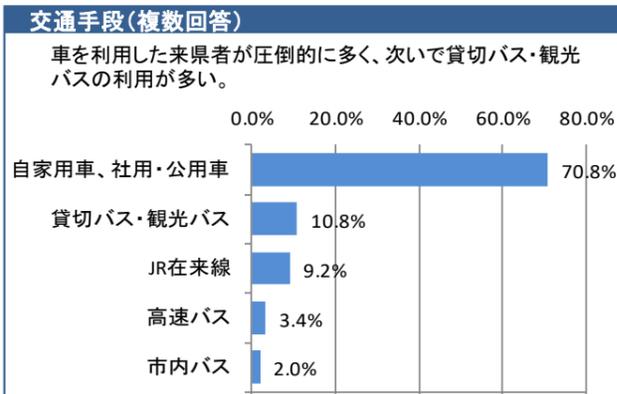
## 調査方法 ～観光庁が定めた「観光入込客統計に関する共通基準」に基づく調査(平成22年4月より導入)

- 観光入込客数調査・・・399地点等
  - ・ 自然(山岳、湖等)、文化歴史(神社、美術館、ワイナリー等)、温泉、スポーツレクリエーション(公園、遊園地等)、都市型観光(農産物直売所等)、その他(道の駅等)、行祭事・イベントなど、県内の観光地や観光施設に対して、来客の利用状況を調査
- アンケート調査・・・回答数2,808
  - ・ 対面聞き取り方式
  - ・ 四季毎に、年4回×県内10箇所調査
  - ・ 主な質問項目：性別、年齢、居住地、旅行目的、消費動向、利用交通機関、満足度 等
- 宿泊客数調査・・・1,373施設
  - ・ 観光庁が実施する宿泊旅行統計調査の結果を使用。

## 結果概要

- 山梨県観光入込客(実人数)は**3,768万8千人**であり、前年比 **+17.2%**
  - ・ 日帰り客(実人数)は **2,847万1千人**であり、前年比 **+18.8%**
  - ・ 宿泊客(実人数)は **921万7千人**であり、前年比 **+12.4%**
  - ・ 県外客(実人数)は **2,708万8千人**であり、前年比 **+9.4%**
  - ・ 県内客(実人数)は **1,059万9千人**であり、前年比 **+43.2%**
  - ※県外客(実人数)には外国人を含む。
- 観光消費額は、**県全体で4,001億円**であり、前年比 **△3.2%**
  - ・ 1人当たりの平均観光消費額は、**10,616円**であり、前年比 **△17.4%**
  - ・ 属性別の1人当たり平均消費額 県外日帰り客8,324円、県外宿泊客23,320円、訪日外国人宿泊客16,063円
- 外国人延べ宿泊者数(速報値)は218万9千人であり、前年比 **+36.1%** 出典:観光庁宿泊旅行統計調査

### ～県外観光客のアンケート調査結果～



## 圏域別の比較 (実人数)

- 各圏域とも増加した。富士・東部圏域の割合が49.1%と半数に近い。富士・東部では、この統計が現在の集計方法となった平成23年から増加を続けている。
  - ・ 峡中は **572万2千人**であり、前年比 **+23.0%**
  - ・ 峡東は **617万3千人**であり、前年比 **+14.0%**
  - ・ 峡南は **243万3千人**であり、前年比 **+9.7%**
  - ・ 峡北は **486万5千人**であり、前年比 **+11.5%**
  - ・ 富士・東部は **1,849万5千人**であり、前年比 **+19.2%**

圏域名	平成30年		平成29年		対前年比
	観光入込客数	構成比	観光入込客数	構成比	
峡中	5,721,589	15.2%	4,650,030	14.5%	123.0%
峡東	6,172,513	16.4%	5,414,558	16.8%	114.0%
峡南	2,433,297	6.5%	2,218,685	6.9%	109.7%
峡北	4,864,961	12.9%	4,361,599	13.6%	111.5%
富士・東部	18,495,368	49.1%	15,516,967	48.2%	119.2%
年計	37,687,727	100.0%	32,161,839	100.0%	117.2%

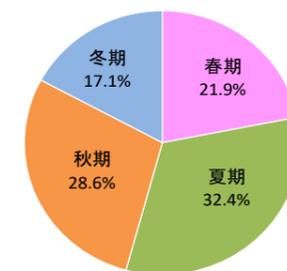
## 期別、月別の比較 (実人数、3カ年比較)

- ・ 1年を春期(3～5月)、夏期(6～8月)、秋期(9～11月)、冬期(1～2月及び12月)に分け、比較した。
- ・ 1年のうちで夏期が1,220万人(構成比32.4%)と最も多く、冬期が646万人(構成比17.1%)と最も少ない。
- ・ 前年と比べて伸び率が最も高かったのは秋期であり、前年比33.6%の増加。一方、最も低かったのは春期であり、前年比5.7%の減少である。

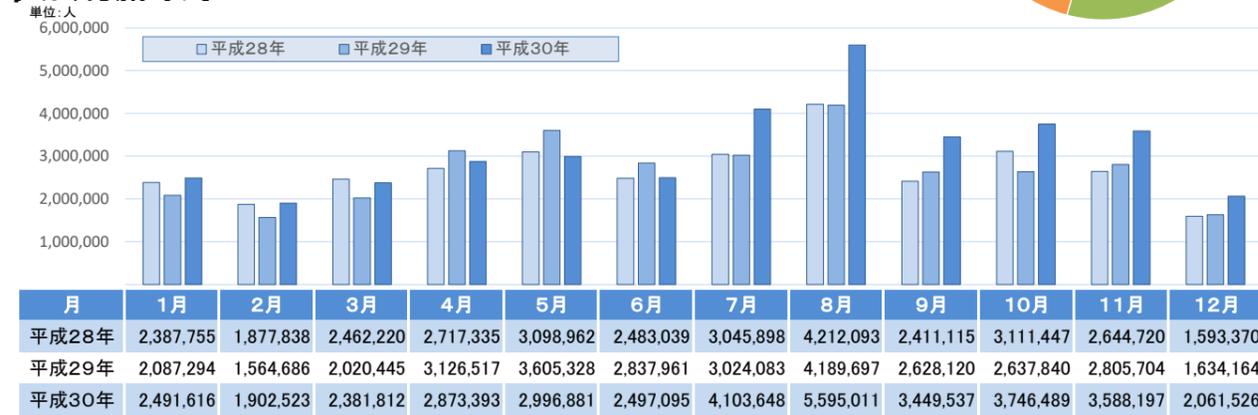
【3カ年比較表】

項目	平成28年	平成29年	平成30年	対前年比	対前々年比	備考
春期	8,278,517	8,752,290	<b>8,252,086</b>	94.3%	99.7%	3～5月
夏期	9,741,030	10,051,741	<b>12,195,754</b>	121.3%	125.2%	6～8月
秋期	8,167,282	8,071,664	<b>10,784,223</b>	133.6%	132.0%	9～11月
冬期	5,858,963	5,286,144	<b>6,455,665</b>	122.1%	110.2%	12月、1～2月
年計	32,045,792	32,161,839	<b>37,687,727</b>	117.2%	117.6%	

【期別構成比】



【3カ年比較グラフ】



### ○ 傾向

- 1月～2月 降雪や降雨もあったが、全体としては天候に恵まれた。1～2月にかけて、2018富士の国やまなし国体が開催されたことや、2月の建国記念日が3連休となったことも観光入込客の増加要因と考えられる。
- 3月 春休み期間中に積雪を観測するなど観光入込客の減少要因もあったものの、全体として見ると、観光入込客数は対前年比17.9%増となった。花見を目当てとした訪日外国人の増加等の要因が考えられる。
- 4月 週末を中心に天候に恵まれたものの、花の開花時期のずれ等により観光入込客数は前年比91.9%となった(一昨年と比較すると105.7%)。
- 5月 対前年比で16.9%の減少となった。ゴールデンウィーク期間中に天候が崩れたことが要因と考えられる。
- 6月 梅雨明けが6月29日と観測史上最も早くなったが、梅雨の間は昨年と比べて雨の降る日が多かった。
- 7～9月 全体として観光入込客は増加したが、西日本での豪雨災害、それに伴う関西空港の閉鎖、記録的な猛暑などの影響を受けたという声もあり、地点によって観光入込客数の増減が分かれる結果となった。
- 10～11月 9月末の台風24号で国道413号線が通行止めになるなど影響を受けたという声もあったが、秋の紅葉シーズンは好天に恵まれ、観光入込客数は増加した。
- 12月 冬型の気圧配置により晴れる日が多かった。平均気温も高くなった。

各統計数値は、端数処理をしているため表中の合計値と個々の数値の合計が一致しないことがある。